



ニュースリリース

2015年 6月 5日

新日鉄住金エンジニアリング株式会社

タイ王国における廃棄物利用発電技術普及促進事業の採択について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：高橋 誠、本社：東京都品川区 以下、当社）環境ソリューション事業部（事業部長：山田 良介 代表取締役副社長）は、環境省が公募した「平成 27 年度我が国循環産業海外展開事業化促進業務」において、北九州市等と連携して「タイ王国における埋立てごみを対象とした廃棄物発電事業」（以下、本事業）に提案・応募し、今般、正式に採択されましたので、お知らせ致します。

タイ王国は、堅調な経済成長を背景として都市ごみ発生量も年々増加しているところ、直接埋立て処分が主流である現状においては、特に大都市部において最終処分場の逼迫にくわえ、最終処分場のメタンガス発生に伴う火災など環境問題も併発しており、埋立てごみの適正な安定化と最終処分場の延命化などが喫緊の課題となっています。また、タイ王国では、全エネルギー消費に占める再生可能エネルギーの割合を高めようと取り組んでおり、今般発表されている固定価格買取制度の改正案により、都市ごみを活用した発電施設の建設が促進されることが見込まれています。

タイ王国を取り巻くこのような状況を踏まえ、この度、当社が北九州市並びに(株)エックス都市研究所と共同で提案し採択された「タイ王国における埋立てごみを対象とした廃棄物発電事業」は、海外でトップクラスの技術力と実績を誇る当社のストーカ炉式ごみ焼却発電技術、北九州市等の廃棄物管理ノウハウ等を活用することにより、埋立てごみの適正安定化処理と処分場延命化、CO₂削減やグリーン電力普及への寄与など様々な形でタイ王国の環境問題に貢献しようとするものであり、その為の事業可能性検討は、同国内においても先進事例として期待されているものです。

当社ではこれら施策を通じて、今後もグローバルに環境問題に対応できる環境プラントエンジニアリング企業として更なる発展を目指す所存です。

【案件概要】

本事業の概要	<p>【対象地域】 タイ国サムットプラカーン県 (Samut Prakan Province, the Kingdom of Thailand)</p> <p>【処理対象廃棄物種類】 タイ国廃棄物処理業者の所有する都市ごみ最終処分場における埋立てごみ</p> <p>【利用技術】 ストーカ炉式ごみ焼却発電技術（前処理として選別（RDF化）施設）</p>
--------	---

【お問い合わせ先】 CSR・広報部 広報室 03-6665-2366

URL <https://www.eng.nssmc.com/ask/>

以上